

math news

～算数通信 No.9～

大田区立南蒲小学校 算数担当 [REDACTED]
2024.10.2

【今、算数で力を入れたいこと】

2学期の算数が始まって1か月。どの学年も新しい単元が始まり、クラスが変わりました。9月に一緒にクラスで学習した人たちに話をしましたが、2学期は「自分の考えを相手が分かるように表現する力」を高めていきたいと考えています。もちろん、相手の考えを聞き、理解する力も大切です。評価の観点でいうと「思考力・判断力・表現力」になります。

「説明することは苦手」「うまく言えない」といった声が聞こえますが、誰でも最初からうまく説明することはできません。これは、大人も同じです。何度も練習をしたり、何度も人前に立って言う経験をすることで、自分の考えを相手に伝えることができるようになっていくのです。

「教室はまちがうところだ」という絵本にもあるように、失敗してもいい、間違ってもいい。挑戦することを止めない人になってほしいです。

最後に、先日、ある講演会で聞いた話の内容を掲載します。

「これからはVUCA(予測困難)の時代になるといわれています。自分で判断し、行動し、人生を切り拓いていける人にならなくてはなりません。物事をポジティブに捉えて困難に立ち向かう力が必要なのです。だからこそ、こどもを育てる大人たちは、心配だから・・・と、こどもの成長を止めてはいけないのです。」

私も親として、こどもの成長を止めていないか考えさせられました。こどもの考えを最後まで聞いているか。自分の経験や考えを押し付けていないか。「I(アイ)メッセージ」として、伝えているか。

算数で表現力を高めることが、困難なことにも立ち向かっていく力を高めることに繋がると信じて、授業をすすめていきます。

【10月の学習予定】

- 4年生:「がい数の表し方と使い方」
「計算のきまり」
- 5年生:「分数と小数、整数の関係」
「分数のたし算とひき算」
- 6年生:「円の面積」「角柱と円柱の体積」

【10月の学習用具】

全学年共通:教科書、ノート、筆記用具、下じき、直定規、Chromebook

★Chromebookの充電を忘れずに!

- 4年生: 上記のみ
- 5年生: 上記のみ
- 6年生: コンパス、はさみ、テープ

【6年生特集 ～学習の振り返り～】

「データの調べ方」の学習が終わりました。ドットプロット、代表値(中央値、最頻値)、階級など、中学1年生で学習していた内容が2020年から加わることになりました。代表値(中央値、最頻値)の意味や求め方、目的に応じてデータを収集すること、統計を用いて問題を解決する方法などを学習しました。

最初、平均値だけで結論を出していましたが、いろいろな代表値や比較する方法を知ること、見方や考え方が広く深くなり、多角的に物事を見る力が伸びていきました。

どのクラスが優勝すると予想しましたが、
理由は・・・2組
ヒストグラムを見たかんじ1組の柱状グラフの60回以上65回未満が高いが3組の柱状グラフも60回以上65回未満だから、2組の65回以上70回未満が高いから2組が優勝すると思う。最初は平均値で考えて1組が優勝すると思ったけど2組が優勝すると思わなかった。

どのクラスが優勝すると予想しましたが、
代表値を並べてみると、
1組は最小値、平均値
2組は中央値、65以上の度数の割合、度数分布表やヒストグラムで、最も度数が多い階級
3組は最大値、最頻値
で最も高い数値をしめています。最も高い数値を示した代表値が多い2組が私は優勝すると思います。

どのクラスが優勝すると予想しましたが、
自分が優勝すると思ったクラスは・・・2組
理由は中央値が65回が一番。また65回以上の度数の割合でも、54.2%でこれも一番です。度数分布表でもヒストグラムでも度数の階級でも一番でした。そのため2組だと思いました。

オクリンクを使って、意見提出をし、友達の見見を見合いました。自分の見方や考え方がどう変わっていったのか、言葉で表現できているところが、6年生の成長です。